

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立貴志南小学校
作成日	平成30年 3月 2日

1 教育目標

21世紀に生きる生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成を目指す。
—たたくましい子、やさしい子、考える子—

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の理解や協力が不可欠。 地域と連携の上、全体で子どもを守り育てる。 何をどのように開くのか、情報の共有と日々の活動の相互理解が必要。 保護者が我が子だけでなく、周りの子どもたちにも目を向ける努力が必要。 保護者も学校行事に積極的に参加し、ともに楽しみ盛り上がるのが肝心。 子どもが常に安心して勉強できる環境づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 人との生の対話から考える力が育つ。 良し悪しの分別・判断力のある子どもに。 自由な経験からの成功・失敗体験から学ばせたい。 弱いものにこそ優しく。 年齢だけでなく、様々な特徴を持つ人とのかかわりを学んでほしい。 「やさしい子」「豊かな心」について私たち大人も学び、子どもたちに伝えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは国語力、特に読解力をつける。 塾通いが増える現代に学校教育だけで学力を充実させたい。 英語も必要だが、まず母国語だろう。 まずは「自分で思考」する力が大切。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 校外へ出たの体験や見学は子どもたちにとって良い経験。 毎月先生方が登校指導をして見守ってくれているのがうれしい。 校長室で話したり、遊んだり開放的で良い。 頻りに学級通信をだしてくれ、学校生活の様子がわかりやすい。 体験活動や出前授業などで教科書では学べないことを学べている。 子どもセンターでは、様々な取り組みをしており、子どもたちも楽しみにしている。 集会等のお知らせが早めにあるので保護者も見ることができ、普段の子どもの姿を見ることができ。 修学旅行や合宿の速報をHPで伝えてくれ様子がよく伝わった。 HPにより、我が子の学年だけでなく、学校全体の取組の様子をつかむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育やインクルーシブ教育は時間も人員もかかると思うが、すぐく力を入れ取り組んでいるおかげで、様々な特徴を持つ友達が周囲にいることを「当たり前」の環境となっていることが素晴らしい。 生活習慣を確立するのが大切である理由を学ばせたい。 田んぼ体験・ありがとうコンサートなど他校にない貴重な体験。 校長先生が挨拶や教室巡視・校長室開放で子どもたちと関わってくれている。児童会の挨拶の取組も良い。 異年齢で活動する集会・クラブ活動・委員会を通して思いやり・協調性を育てるのは大切で、子どもも楽しみにしている。 体力づくり(陸上・ミニバスケ)では「協調性」「感謝」なども教えてもらえ、感謝している。 先生と子どもの距離感がよく、相談もしやすいようだ。 地域性も関係するのか、素直な子が多く、とても良い事。 集会等での校長先生による表彰式は次への意欲と自信につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 詰め込みではなく、クラス全員でいろいろな考えを出し合い、楽しい授業風景だ。 居残り学習は早めの計画と情報を。 子どもたちの合唱・合奏のレベルの高さに驚いた。 貴志南クイズや九九階段など生活しながら自然と身に着く工夫。 虹色ルームや放課後学習はありがたい取組。 ICT等による教材の工夫で子どもは興味をもってわかりやすく学習できてる。 朝掃除で、清潔な環境を自分たちで整えているのはすばらしい。 漢字検定の再チャレンジ制は疑問。 グループ学習は教える子も教わる子もプラスになる。 個別の指導(虹色ルーム)は個々のペースに合わせて指導でき良いシステムである。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 参観・懇談会の機会は適切に設けているとの回答が多いのに、懇談会参加が少ないのはなぜ？ 懇談会に参加できなかった保護者に、後日内容をプリント等で知らせてはどうか。 地域とのふれあいをたっぶりさせてもらっている。 野菜・米など農業体験から調理まで一連の活動で充実感も得ている。 登下校は地域や先生に頼りきりにならず、保護者ができる限りの活動を。 参観や保護者参加の学校行事は適度で、子どもたちの様子が伝わる。多くの保護者が学校に信頼を寄せている。 保護者アンケートで肯定意見が大多数を占めているのは広報活動や地域への働きかけが有効であったと言える。 育友会活動の広報がまだまだ必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」「友達となかよくしている」が大半を占め、安心。日ごろの先生方の努力や授業工夫によるものと思う。少数の否定の子どもの声も忘れず。 子どものことを「わからない」の回答が多い項目に、親子の会話の少なさを憂う。 悩みやトラブルで相談した折、担任の先生が親身に受けてくれ、安心して登校できて感謝している。 見守り隊をして想像以上に子どもたちの挨拶ができていて、アンケート結果に改めて納得した。 アンケートでは、ほとんどの子どもが自分を肯定し前向きな気持ちでいることにほっとする。 「ノーチャイム」の試みは、自ら考え行動する力を養えている。 昔は異年齢で自然と交わっていたが、今はこうしてペア活動が必要なのは今の時代仕方ないのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「勉強がわかる」が毎年多いので安心。興味や関心もしっかり持っているのだろうか。 「勉強がわかる」は多くが肯定だが、少数の子のための手立てを強化してほしい。 「自学ノート」の提出の仕方を検討。 昨年より「勉強がわかる」という児童が増え、「基礎学力はついている」という保護者が多いため、引き続き学力充実を目指してほしい。 休み時間に先生に教えてもらえる風土を今後も続けてほしい。 授業中に子どもが発表しやすい環境ができてきている。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 今後も校外へ出たの学習を重視してほしい。 参観は大勢参加しているので、集会も午後にしたらさらに参観者が増えるのでは？ 施設開放は地域のために必要だが、せっかくの芝生がはがれつつあるので一考が必要。 卒業生たちも楽しみにしている夏祭り・もちつきなどの育友会行事は継続してほしい。 2学期にも個人懇談はできないでしょうか。 児童側から地域とのかかわりに関するアンケート意見も聞いてみたい。 学期ごとでいいので、遠足等保護者が見ることができない様子をカラー写真で学級だより等にのせてほしい。 学年だより等には写真を多く掲載し、エピソードなども伝えてほしい。 今後も保護者との連携を重視してお願いします。学級での問題があれば協力します。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を踏まえ、積極的に子どもに話しかけ、より親子のコミュニケーションを図るよう考えたい。 外遊びのできるよう、放課後の校庭の開放をより時間を長く。 教える側もゆとりがないと…先生方も十分な休息を。 ボランティア体験の充実。 今後も子ども一人一人が大切にされ、認められる学校であってほしい。 学校の外に出ると挨拶できない子がいるため、我々大人が手本になる必要がある。 限られた授業時数の中だが、豊かな心を育むために体験等を今後も企画してほしい。 他校と比べ、体験を通した行事が多くありがたい。 体力づくり(陸上・バスケ)の予定は通信等に載せてほしい。 家庭でも生活習慣を親子で確立していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後学習・夏休み補充学習は継続をお願いしたい。 算数は特に積み上げが大切なので低学年からの絶え間ないフォローを今後も。 地元愛を生む「和歌山について」の学習の推進。 宿題の量の調節をして負担がないよう。 防災訓練は定期的に行われているが、学習として授業でも取り上げてほしい。 体力づくりの一環として「なわとび大会」「マラソン大会」があればいいと思う。 英語・パソコン学習は今後もお願いします。 算数(計算)検定もどうでしょう。 図書の本の充実 研究指定校としての研究結果を指導に活用。 勉強における競争心もつけてほしい。

3 その他のご意見

・先生方は休日の育友会行事にも、いつも手伝いに来てくれ申し訳ないくらい。・高学年の給食の量が心配。・アンケート結果で少数の否定児童を救ってあげてほしい。・トイレの洋式化改修がいずれ予定されるそうだが、衛生上、和式も残してほしい。・インフルエンザ流行時は空気清浄器等設置できないか。・「たたくましい子」についての育てたい子ども像が見えにくい。